

日本音楽療法学会員の皆様へ

～音楽療法を人々に届け続けていくために～

多くの人々が新型コロナウイルス感染症に脅威と不安を感じている今こそ、音楽療法を必要とする人々に音楽療法を届けたいと思います。しかし、音楽療法に必要な“人と人が向きあい、手を取りあい、言葉をかけあい、歌いあうなど一緒に音楽する活動”が、感染拡大を避けるために制限されています。会員の皆様の中には、音楽療法を実践すること、音楽療法を研究することへの希望を見失いそうになっている方もいらっしゃるかもしれません。

学会は、会員の皆様の新型コロナウイルス感染拡大に伴う問題について、以下の3つに取り組んでまいります。

第1に、研修会等の中止によって資格更新が困難となった方への施策です。

第2に、音楽療法の仕事をされている方などのうち、新型コロナ問題によって収入が減少した方への施策です。詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。

第3に、現在のような状況の中で実施することができる音楽療法の探究です。

世界の、また日本の音楽療法士たちが、すでに試みを開始しています（その1つの例が、インターネットを介した遠隔音楽療法です）。こうした新しい試みは、感染問題が収束した後、音楽療法の実践・研究がさらに発展するきっかけになり得るものです。

古くから、ピンチな時ほど大きな発展のチャンスがあるといわれています。学会員相互で情報を提供し合い、新しい音楽療法の探求を進めてまいりたいと思います。具体的になりましたらホームページでお知らせします。

現在の大きな困難を乗り越えていくために、一緒に取り組んでまいりましょう。



一般社団法人 日本音楽療法学会

理事長 藤本禮子